

2017

10

October

No. 295

広報みしま

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations

健康長寿を祝う

三島町敬老会（2ページに関連記事）



主な内容

三島町敬老会	2	町史編さん室だより	13
健康診断表を見てみましょう！	3	トピックス・お知らせ	14～15
まちの話題	4～5	弾道ミサイル発射時の行動について	16
町民記者通信	6～9	職員の給与と定員管理について	17
平成28年度決算報告	10～11	みしま支援隊募集！	18
健康で元気な毎日！	12	宮下病院からのお知らせ	19
図書のご案内	12	情報配信・お知らせ	20～21
		町長日記	22



健康診断表を見てみましょう！

今年度の健診はもう受診されましたか？

心疾患や、脳血管疾患、慢性腎臓病等血管の動脈硬化から起きる病気を防ぐには健診結果をよく理解することと、(数値が正常でない場合)受診や生活改善が重要になります。今月号では、基本的な健診の結果の見方についてお伝えします。結果をよく見て、心配なことがあったら、ぜひ保健師に声をかけてください。健診データを改善する方法をお伝えします。
※特定健診を受けていない国保加入者の方は2月まで県立宮下病院、坂下厚生病院で受診可能です。希望される方は保健師までご連絡ください。

※人間ドックのお知らせと申込書を10月中旬ごろに各戸配布いたしますのでご利用ください。

健診検査項目の保健指導判定値および受診勧奨判定値

				基準値	保健指導判定値	受診勧奨判定値	保健指導、受診勧奨判定に該当する場合の身体の状態について	
基本的な検診の項目 ※その他の健診項目	身体の大きさ		B M I		～ 24.9	25.0 ～		数値 18.5 未満は低体重、25 以上だと肥満です。
			腹囲	男性	～ 84.9	85.0 ～		内臓脂肪が蓄積すると血圧や血糖、中性脂肪を上げる物質が内臓脂肪から出ることがあります。
				女性	～ 89.9	90.0 ～		
	血管への影響 (動脈硬化の危険因子)	内臓脂肪の蓄積	中性脂肪		～ 149	150 ～ 299	300 ～	脂肪の体内蓄積具合を見ます。数値が高いとメタボの危険性があります。
			HDL コレステロール		40 ～	35 ～ 39	～ 34	血液中の余分なコレステロールを肝臓に戻す働きをしており、肥満や喫煙により減少します。
			AST (GOT)		～ 30	31 ～ 50	51 ～	数値が高い場合は、肝臓の病気が疑われます
			ALT (GPT)		～ 30	31 ～ 50	51 ～	
			γ -GT (γ -GTP)		～ 50	51 ～ 100	101 ～	肝臓や胆道に障害があると数値が高くなります。
		内皮障害	血圧	収縮期	～ 129	130 ～ 139	140 ～	リスクにより対応が分かりますが収縮期血圧 180 以上の場合は直ちに病院を受診して下さい。
				拡張期	～ 84	85 ～ 89	90 ～	
			尿酸		～ 7.0	7.1 ～ 7.9	8.0 ～	増えすぎると足の指や膝関節に炎症を起こす痛風発作が生じます。
		インスリン抵抗性	空腹時血糖		～ 99	100 ～ 125	126 ～	インスリンの働きが悪いと高血糖状態が続き、糖尿病が疑われます。
			HbA1c (JDS 値)		～ 5.5 (5.1)	5.6 ～ 6.4 (5.2 ～ 6.0)	6.5 ～ (6.1)	過去 1 ～ 2 か月の平均的な血糖の状態を知る検査です。直前の食事等の影響を受けません。
			尿糖		(－)		(＋) ～	血糖値が高くなると尿にあふれ出てきます。
		腎臓	血清クレアチニン	男性	0.45 ～ 1.14	1.15 ～ 1.34	1.35 ～	腎臓の機能低下の可能性があります。
				女性	0.35 ～ 0.94	0.95 ～ 1.14	1.15 ～	
			eGFR (糸球体ろ過量)		60.0 以上	50.0 ～ 59.9	49.9 以下	値が少ないほど、腎臓の働きが悪いこととなります。70 歳以上の場合は 40 あれば大丈夫です。
			尿たんぱく		(－)		(＋) ～	腎臓に異常がある場合にもれ出ることがあります。
			尿潜血		(－)		(＋) ～	腎臓や膀胱の炎症等がある状態です。
		尿中アルブミン検査		18.0 以下	18 ～ 300	300 ～	糖尿病や高血圧による腎臓機能の低下の可能性があります。	
	その他動脈硬化危険因子		LDL コレステロール		～ 119	120 ～ 139	140 ～	量が多いと心筋梗塞や脳梗塞を引き起こします。
	詳細な検診の項目	変化 血管	心臓	心電図		正常	軽度異常	異常
脳			眼底検査		正常	軽度異常	異常	目の病気や動脈硬化などの可能性があります。
(血管の易血栓化 血栓のできやすさ)		ヘマトクリット	男性	38.5 ～ 54.9	36.0～37.9、 55 以上	35.9 以下	血液全体の赤血球の割合が病気などの何らかの原因で高すぎるか低すぎる状態にあります。	
			女性	33.0 ～ 47.9	29.0～32.9、 48.0 以上	28.9 以下		
		血色素量 (ヘモグロビン値)	男性	13.1 ～ 17.9	11.1 ～ 13.0	12.0 以下 18.0 以上	血液中の酸素や栄養を運ぶ機能が、病気などの何らかの原因で高すぎるか低すぎる状態にあります。	
			女性	12.1 ～ 15.9	11.0 ～ 12.0	11.0 以下 16.0 以上		

※ HbA1c 値は国際標準化に伴い NGSP 値で表記

※検査機関によって基準値が変わる場合があります。



福島民報社より表彰された角田清義さん・米子さんご夫妻



三島町敬老会は9月6日に森の校舎カタクリ体育館で開催され、満75歳以上の543名の招待者のうち、197名が出席しました。
福島民報社による「しあわせ金婚夫婦表彰」では、結婚50年を迎えた6組のご夫婦が表彰され、代表して角田清義さん・米子さん夫妻(浅岐)に佐藤庄太会津坂下支局長から表彰状と記念品が手渡されました。また、満88歳の米寿を迎えた14人の方々が町から表彰されました。
演芸会では三島保育所のきりん・ぱんだ組によるダンス、いわき市出身の歌手、藤川えみ子さんの歌謡ショー、みちのく桜の会による踊りやマジックショー、最後は三島太神楽保存会の長獅子が披露され、健康長寿を祝いました。

しあわせ金婚夫婦(結婚50年を迎えられた方)

地区	夫婦氏名	地区	夫婦氏名
大登	馬場幸造・弘子	大石田	渡邊要・幸子
浅岐	角田清義・米子	大石田	五十嵐忠義・作子
西方	二瓶一男・トヨ子	高清水	小柴春雄・スイ子

(敬称略・順不同)



- ①三島保育所の子どもたちによるかわいらしいダンスの披露
- ②笑顔溢れる藤川えみ子さんによる歌謡ショー
- ③多彩な芸を披露したみちのく桜の会の方々
- ④伝統ある三島太神楽保存会の長獅子

美

坂高原の大自然を満喫！

三島保育所遠足

9月21日、三島保育所の美坂高原への遠足が行われました。保育所の子どもたちは、シートを広げておやつを食べた後はどんぐりを拾ったり、広場でかけっこやボール遊び、ブランコなどで遊びました。お昼はお弁当を広げ、お互いに自慢しあうなどにぎやかに過ごし、初秋の美坂高原を楽しみました。



交

通事故ゼロを目指してパレードなどを開催

秋の全国交通安全運動を町内で実施

秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）に合わせた街頭キャンペーンが町内で開催されました。9月21日は会津坂下警察署による交通安全パレードは三島町にも訪れ、ハーレーダビッドソン愛好会の皆さんと一緒に交通安全や交通事故防止を呼びかけました。また、9月25日には川井地区の国道252号沿いで秋の全国交通安全運動ふれあいキャンペーンが行われました。町交通対策協議会、交通安全協会三島分会、町交通安全母の会、会津坂下警察署などが参加して、通行するドライバーにストラップなどを配り、安全運転を呼びかけました。

これからの季節は日没が早くなります。夕暮れ時と夜間に歩行する際は反射材などを着用しましょう。また、自転車乗用中は前照灯の早めの点灯を徹底し、事故防止に努めましょう。

デ

ザインの本質を学ぶ

生活工芸アカデミー公開講座「デザインって何？」

生活工芸アカデミー講座「デザインって何？」は8月25日、町民センターで行われ、町内外から約20人が参加しました。交流センター山びこのデザインに関わった、会津短期大学の時野谷教授を講師に迎え、デザインについての講義が行われました。次回は市場調査や販路戦略を学ぶ「マーケティング論」についての講座を11月21日に開催しますので、興味のある方はぜひご来場ください。



京

都で編み組細工や桐タンスを展示＆販売

三島町のものづくり展 in 京都

三島町のものづくり展 in 京都は、京都市の（公財）手織技術振興財団 織成館にて9月1日から5日まで開催され、三島町の編み組細工や桐タンスを展示、販売しました。京都府を含め関西圏での展示販売のイベント開催は初めてで、来場者の方々は特産品の数々を興味深そうに眺めたり、手に取っていました。

今回のイベントは、町の編み組細工が国の伝統的工芸品に指定された時から支援をいただいている、全国編み組工芸品展の審査員でもある渡邊隆夫西陣織工業組合理事長の協力によって実現したものです。また、開催前日に行われた歓迎会では、京都府副知事、京都市市長、京都市議会議員、日本伝統工芸士協会会長が出席し、交流を深めました。

町では、今後も京都において展示販売会などを引き続き開催し、「奥会津三島のものづくり」を全国に幅広くPRしていく予定です。

Pick UP

図書コーナー「ゆめぽけっと」児童書コーナーをリニューアルしました！

東京在住の工藤忠利さん（ふるさと東京ユネスコ協会）より、昨年の三島小・中学校に引き続き、三島町の図書館に「遠藤太禅・キヨ文庫」として多額の本購入資金をご寄附いただきました。

ご寄附を有効に活用するため、遠藤太禅・キヨさんのお息女の遠藤由美子さん（西方）を中心に、児童書の専門家集団「キラキラ読書クラブ」と「ふくしま本の森」のスタッフの方々に選書していただき、本の入れ替え、展示の作業を「ユネスコ協会三島支部」の皆さんにご協力いただき、「100冊の絵本」（0～6歳までのお子さん用に厳選された絵本）コーナーや児童書コーナーを整備しました。ぜひご活用ください。

なお、これらの本を活用してのイベントを下記により実施しますので、お子さんと一緒にぜひおいでください。

<今後の予定>

11月8日㊥ 午後1時30分～

「本って面白い！」「キラキラ読書クラブ」メンバーによるトーク

11月9日㊥ 午前10時～

「絵本で遊ぼう！」



熱

い応援を力に 初勝利まであと一歩

市町村対抗軟式野球大会 南相馬市に惜敗

9月9日に開幕した市町村対抗軟式野球大会の、「三島町 vs 南相馬市」の試合は、9月16日にしらさわグリーンパーク野球場（本宮市）で行われました。今年は応援団も多数かけつけ、そろいのシャツや町の法被を着て応援歌を歌うなど熱のこもった応援があり、初戦突破へ期待の高さがうかがえました。試合は柴崎仁志投手（宮下）が好投し5回まで1失点に抑え、迎えた6回には長打で逆転に成功しましたが直後に逆転を許し、5-2で敗れ惜しくも初戦突破はなりませんでしたが、投打とも練習の成果を発揮し、来年に向け期待の持てる試合内容となりました。



天候に恵まれた「秋の人足」 文・写真 本名与四郎さん（西方）

9月3日の午前8時から11時30分頃を目安に西方地区において「秋の人足」が行われました。今夏は、全国的に雨の日が多く、人足の当日も心配されましたが、天候に恵まれ、14の隣組がそれぞれ分担された箇所に分かれて作業を開始しました。普段、通ることが少なくなった農道や林道の雑草は、長雨の影響もあり、大人の膝元ぐらいまでに伸びきっていました。どの隣組でも、草刈り機のエンジン音が各箇所で鳴り響いていました。作業の途中に、休憩をとりながら、松茸などのキノコの出具合やヤブ蚊に刺されないためには足をアルコール消毒すれば刺されにくいなどの情報交換を行う場面が見られました。秋の人足によって、地域の環境美化だけでなく、心の交流を深めることができたようです。



地区民に元気と笑顔を与えた子ども神輿と豊年踊り

文・写真 本名与四郎さん（西方）

9月9日の午前10時より、例年行われている西方地区の「子ども神輿」が行われました。当日は半袖でも暑いぐらいの天候となりました。

子ども神輿は旧児童館近くの郷倉から加登屋さんまでの直線の道のりを「ワッショイ、ワッショイ」と大きなかけ声に合わせて練り歩きました。神輿の途中、小学校児童と若妻会の皆さんによる「よさこい踊り」やスポーツ民踊クラブの方々による衣装を新調し、新人会員も加わり華やかさの増した踊りが披露され沿道いっぱいの観客から拍手喝采を受けました。夜、午後7時30分より「豊年踊り」が開催されました。今年も趣向を凝らした仮装の団体や個人が多く出場し、会場を大いに盛り上げました。子ども神輿と豊年踊りで地区民に元気と笑顔を与えた初秋の一日となりました。



秋祭り 盛大に 文・写真 小島純さん（宮下）

9月9日、恒例の三島神社例大祭が盛大に執り行われ、午前10時に三島神社で神事が行われました。その後“山車”を先頭に、盛装した行列が町内を練り歩き、町内3カ所で“神事”が行われ、町内の安全、安泰を祈願しました。午後からは子ども神輿が練り出し「ワッショイ！ワッショイ！」の掛け声も元気よく、町内を回りました。例年、祭礼は2日間にわたって行われていましたが、今年は1日に集約し、スケジュール的に大変でしたが、中身の濃い充実した1日だったと思います。夜は役場前から“山車”曳き、屋台が出発。見事な絵灯ろうが暗闇に浮かび上がり、荘厳な趣を醸し出していました。その後宮下活性化センターに戻り「仮装豊年踊り」が始まり、工夫を凝らした仮装の面々が大きく輪を作りながら踊り、皆さんの目を楽しませました。



秋晴れのもとみんなで稲刈り！ 文・写真 小島純さん（宮下）

素晴らしい秋晴れの9月26日、三島小学校の「田んぼの学校」で、1年生から6年生による稲刈りが行われました。宮下地区の「びおたんクラブ」（会長：目黒政寿区長）の方々の指導、協力を受けながら「稲刈り」に汗を流しました。途中、地区の住民や三島保育所の子どもたちも見学に訪れ、児童のみなさんの作業に力が入ったようです。刈り取られた稲は2週間ほど天日に干され、皆で行う“脱穀”の作業が待っています。

東北芸工大の学生による遊歩道整備

文・写真 橋本光五郎さん（早戸）



8月30日から9月3日までの4泊5日で、東北芸術工科大学の環境デザインを学ぶ学生の実習教育の一環として「つるの湯周辺の遊歩道」の整備活動が、今年度も佐久間建設工業(株)の支援を受けて行われました。この活動は今年度で8回目となります。今までは、石積み等による遊歩道の整備が主な活動でしたが、遊歩道内の杉の伐採が行われ以前よりも日が差し込む環境になったこともあり、今年度は「景観整備」の観点で実習活動が行われました。

通常は広葉樹の枝等を利用して行われるソダによる土留めを、伐採後に残った杉の枝を利用して行うなど、その場所にある資源の有効活用を学生たちは学んだようで、非常に貴重な実習の場となっていました。最終日の3日午前中には、学生による成果発表会が早戸住民、佐久間建設工業(株)社員も参加して実習場所で行われました。住民や社員からも質問が出るなど、活発な意見交換がされました。



つるの湯宿泊棟の上棟式が行われる

文・写真 橋本光五郎さん（早戸）



建て替え工事が行われている「つるの湯宿泊棟」の上棟式が、9月16日午後4時から行われました。当初は17日に予定されていましたが、台風の接近により荒天の予報が出ていたため急きょ繰り上げて実施されました。当日は工事関係者や住民、町役場の方など約45名が出席し、工事責任者の佐久間建設工業(株)遠藤孝幸建築部長の祝詞奏上に続き散餅銭の儀が行われ、参加者全員で工事の安全と宿泊棟の無事完成を祈願しました。なお、竣工予定は来年の3月15日で、4月からは新しい宿泊棟での宿泊客の受け入れが始まる予定です。

川井地区の秋道草刈り作業 文・写真 角田伊一さん（川井）

9月3日、恒例の秋道草刈り作業を総出で実施しました。今回は主に地区内道を中心に行いました。昔（昭和40年より以前）は秋祭りに呼び呼ばれる風習があり、隣村に通じる小道まで2日がかかりきれいに刈払い、青年団では木柱の道標を建て替え、地区内道を通行する他村の祭り客が迷って作業道に入らないように気配りしたものです。今ではそれらの道を通行する人もおらず、秋道草刈りの範囲も車道だけになり、しかも刈り払い機を活用するため半日で終了してしまいます。



川井長寿会の社会奉仕作業 文・写真 角田伊一さん（川井）

9月10日、川井長寿会（長谷川幸栄会長）では、社会奉仕活動の一環として、恒例の村鎮守伊豆神社の清掃活動に汗を流しました。体力に自信のあるお年寄り23名が積極的に参加し、拝殿内の清掃、広い境内の除草や不要の立木を伐採するなど、手慣れた動作で2時間あまりで見違えるほどきれいに完了しました。終了後に飲み物が配られ、楽しみの研修旅行の予定なども伝達され、午前中に解散しました。





健康を守る会 研修旅行 文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

9月3日、桧原健康を守る会は、新潟県（弥彦・寺泊方面）へ、研修旅行を実施し、25名が参加しました。午前中は、道の駅「東三条」地場産業センターにて見学と買物を楽しみ、その後弥彦神社参拝に向かいました。この神社は「万能の神様」と言われ、どんな願いでも叶うとのことで、年間百万人を超える参拝客が訪れているそうです。当日は台湾からの観光客も大勢訪れていました。また、この神社の参拝方法が独特で、「二礼、四拍手、一礼」が弥彦流だとされていますが「二礼、二拍手、一礼」された方が多く、ご利益がないと思い再度拝みなおす場面がありました。参拝の後は寺泊で昼食や買物を楽しみ、予定通りの行程を無事に終了できました。また、参加された皆さまが親睦を深めた大変有意義な旅行となりました。

秋の例大祭と「お籠」 文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

9月14日、桧原地区の秋の例大祭が、地区の春日神社で行われました。神社役員、地区役員ほか9名が参加されました。少子高齢化により、毎年一般の参加者が減少していく傾向の中での例大祭でした。青木宮司のお祓い、祝詞奏上の後、神社総代長と区長により玉ぐしが奉てんされました。参拝した皆さんは「家内安全」「五穀豊穡」を祈願されていました。また、午後7時より春日神社において伝統の「お籠」を、現在では直会として、各自お酒等を持ち寄り、夜遅くまで酒を酌み交わし、地区の今昔を話題に大変盛り上がり、親睦を深めた夜になりました。



大石田地区グラウンドゴルフ大会 文・写真 中兵一郎さん（大石田）

9月10日に美坂高原で大石田健康を守る会のグラウンドゴルフ大会が開催されました。当日は天候に恵まれ、さわやかな秋空の下でのびのびとプレーしました。結果は、個人の部の優勝は渡部重記さん、2位五十嵐重雄さん、3位は五十嵐一夫さんでした。隣組対抗は予想に反して今まで優勝の経験がなかった4組が2位から5位まで入り、喜びの初優勝でした。



大石田下居平地区の発掘について 文・写真 中兵一郎さん（大石田）

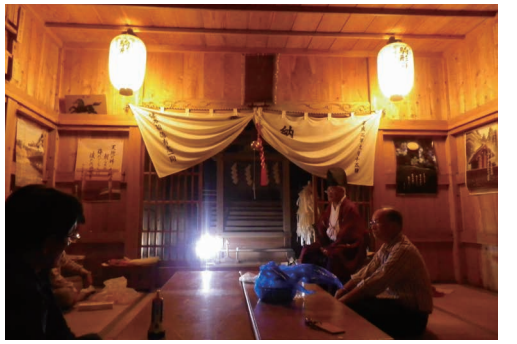
大石田改善センターが耐震対策で立て直す計画予定地と、KDDIの電波塔の建設予定地が下居平縄文遺跡に指定されているため試掘が行われました。5カ所の発掘が行われましたが、各発掘場所から縄文土器、石器等が多数発掘されました。完全な土器は発掘されませんでしたが、土偶の足、黒曜石、石器などが発掘され地区の人は好奇心から毎日見学に訪れていました。また、9月14日には三島中学校の1年生が勉強のため見学に訪れました。多数の土器、石器に縄文時代の生活などを想像している様子でした。発掘された土器、石器はコンテナで10箱以上あり大石田下居平遺跡の豊かさが改めて実証されました。



二百十日のおこもり 文・写真 佐久間絹江さん（滝原）

8月31日、立春から数えて210日の前日に、毎年恒例の「おこもり」が駒形神社で行われました。

青木宮司さんにお越しいただき、地区の方々の健康と安全、五穀豊穡、子孫繁栄をご祈祷していただきました。祭事の後に、神主さんより、先祖を敬い、昔からの慣例や行事を守り伝えていく事の大切さ、尊さについてお話を聞いた後、御神酒をいただき、お互いの親睦を深めました。



大谷春日神社境内および山道の除草、刈り払い作業 文・写真 諏訪典子さん（大谷）

9月9日、大谷寿老会員の皆さんによる奉仕作業が行われました。神社境内は、例年より雨の日が多かったためか草が伸び、大木の杉の葉などで埋めつくされていましたが、会員25名が参加し見る見るうちにきれいに清掃されました。山道については刈り払い機で刈払われ、草も片付けられました。9月14日にはきれいになった神社で秋祭りが行われました。



敬老の日に会食サービスを実施 文・写真 諏訪典子さん（大谷）

9月18日大谷ボランティアすみれ会の皆さんが、地区内一人暮らしの75歳以上の方を対象に実施しました。対象者44名分の料理を作り、活性化センターに來れない方には弁当として配食し、センターに集まった方については一緒に食事をしました。普段出歩くことが少ないお年寄りの方々が一堂に会して和気あいあいの食事となり、楽しくいただくことができました。



歩く県道「美女峠道普請」行われる 文・写真 菅家壽一さん（間方）

9月19日に、美女峠の壇の上の手前のぬかるみと、洗掘された箇所道の道普請が行われました。只見川沿いの道路や鉄道が整備される前は、銀山街道（会津若松～銀山峠～石神峠～美女峠～吉尾峠～只見町）が主要道路でした。間方と野尻は、美女峠を通して仕事や生活の交流も盛んでした。県ではこの銀山街道を「歩く県道」として整備しており、美女峠のボランティア道普請は、今回で5回目となります。会津若松建設事務所、宮下土木事務所の所長さんはじめ職員の方々、現場指導の多賀先生、金山町・昭和村・三島町の職員、若松測量設計㈱、銀山街道を活用して地域を元気にする会および間方地区から総勢24名の方々が参加して賑やかに行われました。ぬかるんだ箇所は、丸太を敷き詰めた構造にして水はけをよくし、美しい景観となりました。間方地区の活性化事業「美女帰の里まがた」では、美女峠に伝わる高姫の紙芝居をつくり上演したり、峠道の散策の案内をするなど、歴史と伝説のある美女峠を活かした地区おこしに取り組んでいます。間方側の峠道は緩やかな勾配で道幅が広いことから、並んでおしゃべりしながら歩けることが魅力です。紅葉の楓の中の森林浴に、ぜひお出でください。また、江戸時代に巡検使に同行した古松軒（日本各地を旅し多くの紀行文を残した）は、京都や奈良より素晴らしいと書いています。



平成28年度 決算

町の一般会計と7つの特別会計の平成28年度決算が、町議会9月定例会で承認されました。一般会計は前年度と比べて、歳入は11.6%の増、歳出は10.9%の増となりました。実質的な赤字はなく、町の「借金」の状況を表す実質公債費比率、将来負担比率はともに健全な範囲を維持しています。

平成28年度 会計別決算額		
会計種別	歳出決算額	実質収支
一般会計	25億4,886万円	+2億602万円
国民健康保険	2億2,637万円	+5,895万円
簡易水道	1億7,506万円	+1,234万円
路線バス	2,662万円	+330万円
農業集落排水	2,264万円	+242万円
介護保険	4億4,986万円	+1,884万円
戸別合併処理浄化槽	3,645万円	+258万円
後期高齢者医療	2,582万円	+14万円
合計	35億1,168万円	+3億459万円



決算が承認された9月議会

財政健全化

自治体の財政破たんを未然に防ぎ、財政状況の悪化した自治体に対して早期に健全化を促すために、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」があります。この法律に基づき「健全化判断比率」と「資金不足比率」の公表が義務付けられています。当町はすべての値が早期健全化基準を下回っており、健全財政を維持しています。しかし自主財源に乏しく国に頼る財政基盤であるため、今後も慎重に財政運営を進めていきます。

健全化判断比率

判断指標	平成28年度	平成27年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	20.0%	30.0%
実質公債費比率	3.1%	4.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—(※)	—(※)	350.0%	—

(※) 平成27・28年度の将来負担比率は算定されないため「—」となります。

資金不足比率

対象となる事業	平成28年度	平成27年度	経営健全化基準
簡易水道事業	不足なし	不足なし	20.0%
農業集落排水事業	不足なし	不足なし	
戸別合併処理浄化槽事業	不足なし	不足なし	

基金

安定した財政運営を維持するとともに、万一の緊急事態に対応するため、町では基金の維持に努めています。基金には財政調整基金などの積立基金と、各種貸付基金からなる定額運用基金があります。平成28年度は、公共施設整備基金で24,728千円の増、新設したふるさと納税基金で6,885千円の増となりました。今後も、将来負担に備え、必要となる財源確保に向けた基金の運用に努めていきます。

基金種別	平成28年度末残高	増減
積立基金	18億9,805万円	+1,374万円
財政調整基金	9億5,143万円	−1,562万円
その他の各種特定目的基金	9億4,662万円	+2,936万円
定額運用基金	1億692万円	±0万円
うち貸付額	7,747万円	+882万円
うち現金	2,945万円	−882万円

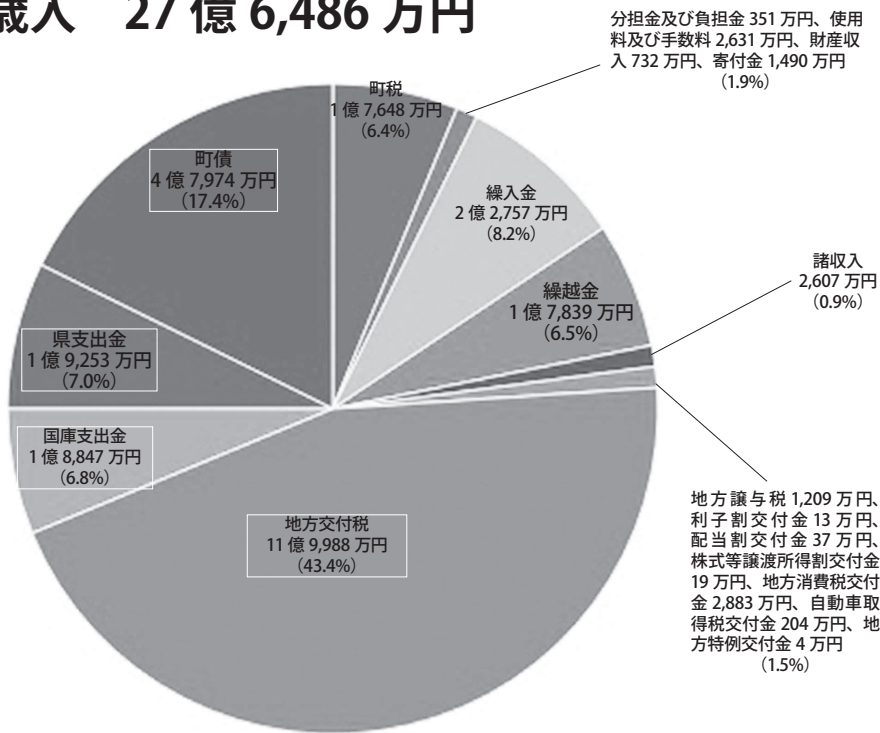
地方債

多額の費用を要しても町民のために重要と判断された事業は、国や県の補助金のほか、返済額の70%が地方交付税で措置される過疎対策事業債などの地方債、いわゆる「借金」をして実施しています。平成28年度末の地方債残高は32億6,967万円（うち一般会計分23億5,867万円）となっており、健全財政を維持する範囲内で、今後も重要事業は計画的な借入れにより実施していきます。

地方交付税全体で減、繰入金や地方債借入の増により歳入は11.6%増

一般会計 歳入

歳入 27億6,486万円



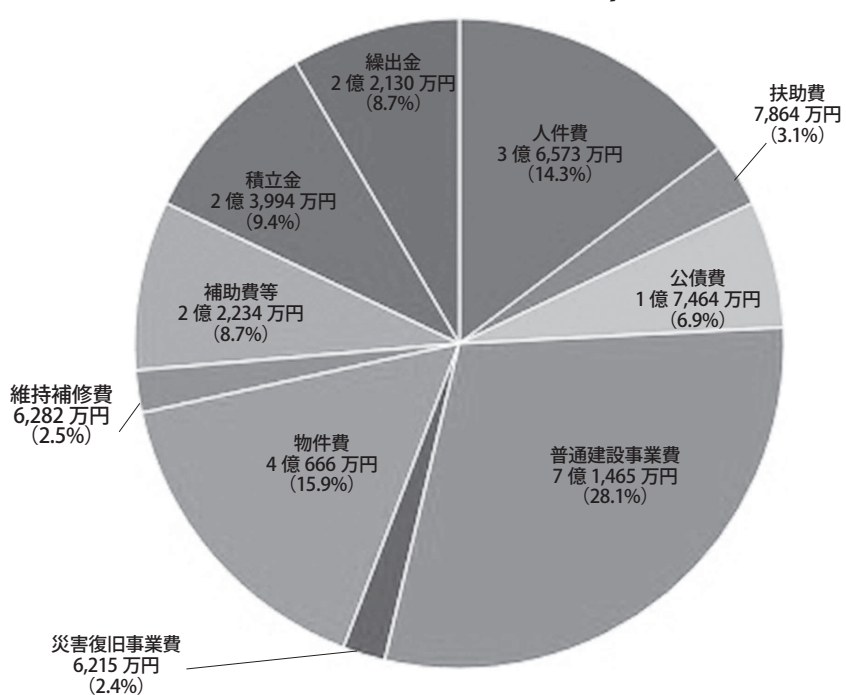
当町の財政運営の柱となる地方交付税で、決算額の半数近くを占める普通交付税においては、平成27年国勢調査の人口減の影響が大きく21,447千円（2.0%）の減、特殊事業への措置として交付される特別交付税においては15,309千円（8.6%）の減となり、地方交付税全体で36,756千円（3.0%）の減となりました。その他国庫支出金で社会資本整備総合交付金が減となり、県支出金では農山漁村振興交付金や災害復旧費、ふくしま森林再生事業等において増となりました。特に、投資的事業の実施に伴う、地方債の借り入れや基金の取り崩しで、大幅な歳入増となりました。

建設事業費大幅な増も実質収支で206,019千円の黒字

一般会計 歳出

歳出を性質別に見ると、義務的経費については、公債費が平成15年度借り入れの過疎対策事業債償還終了等に伴い減となったものの、臨時福祉給付金事業の影響で扶助費が増となったことから全体としては1,275千円（0.2%）の増とほぼ横ばいでした。投資的経費については、普通建設事業費で社会資本整備総合交付金を財源とした単身用住宅整備や町道法面保護工事（繰越事業）、農山漁村振興基金を財源としたミニライスセンターや浅岐集会所等の新築工事、情報通信施設サーバー更新等の事業実施に伴い、全体では300,350千円（63.0%）の大幅な増となりました。

歳出 25億4,887万円



健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎ 4 8 - 5 5 6 5

運動のすすめ ～2～



運動は認知症を予防する！

高齢者の認知症の種類には大きく脳血管性の認知症と、神経細胞の変性による認知症があり、神経細胞の変性による認知症には有名なものとしてアルツハイマー病があります。

高齢者の認知症の種類

- 脳血管性認知症
- 神経細胞の変性による認知症～
 - ・アルツハイマー型認知症
 - ・レビー小体型認知症
 - ・前頭側頭型認知症

その中の血管性認知症は、脳卒中や、高血圧など生活習慣病によりおこります。アルツハイマー型認知症は、βアミロイドやタウという物質が加齢により脳にたまることによりおこりますがこの物質は血糖が高いとたまりやすいことがわかっています。どちらも生活習慣病を防ぐことにより予防できますね。生活習慣病の予防や改善のポイントは

- ①カロリーの過剰摂取を控える
- ②運動不足を解消する
- ③アルコール多飲を控える
- ④喫煙への注意

これらが重要です。運動のすすめその1（広報みしま平成 29 年 9 月号）では筋肉の維持についてお伝えしましたが、認知症予防にも運動は重要です。特にすでに血糖が高くなった方では、運動を行うことによりグルット 4 という物質が出て、これにより高血糖が改善されます。また国立循環器研究センターの猪原匡史先生は運動によっておこる拍動が脳の血管に伝わり、血流を促進することは認知症予防に大きな効果をもたらすと話しています。

認知症予防のためにもぜひ 1 週間に 3 回以上の運動をお勧めいたします。

図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

下記の雑誌を毎月購読しています。
ひよこクラブ・たまごクラブ・
山と溪谷・オレンジページ・壮快・
Number

○利用時間

- ㊟～㊤ 午前 9 時～午後 9 時
- ㊟・祝日 午前 9 時～午後 5 時

○お休み

年末年始
●公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ

桜風堂ものがたり 著者：村山 早紀

主人公の月原一整は、人づきあいが苦手なものの、埋もれている名作を見つけ出す才能がある。しかしある日起こった事件の責任をとって書店を辞めることに。旅に出た彼は、以前より親しくしている桜風堂の店主を訪ねる。そこで思いがけない出会いが彼を待ち受けていた。2017 年本屋大賞ノミネート作品。

●新着本の紹介

題 名	著 者
月の満ち欠け	佐 藤 正 午
A X アックス	伊 坂 幸 太 郎



町史編さん室だより

第 21 回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまでご一報ください。
☎ (52) 2165

多種で広範な商取引「三谷屋常松」（大谷地区）

二瓶常松は弘化二（一八四五）年、大谷村中居（現在の中際）で生まれ、昭和十二（一九三七）年旧暦十月十一日に九十二歳で亡くなりました。彼は激動する明治・大正期に、土地の物産を移出入することを主な生業としていました。

今回は幕末から大正期における常松翁の活動をみていきます。常松翁は明治期になると「ヤマサン・合三」を荷判、「岩代 大沼郡大谷 三谷屋常松」（商印あり）を屋号として商業活動を行っており、その商品は時代によって変化しています。

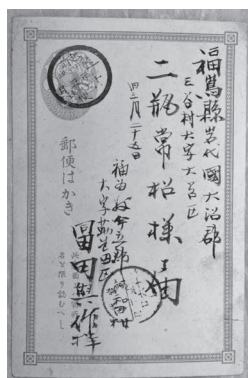
二瓶家から見つかった資料からは【一】大谷から美女峠を越え野尻・中向（現・昭和村）、布沢（現・只見町）へ塩や米を輸送していたこと（明治二十七年、三十一年、三十二年、三十三年）。坂下から米を買い上げていたこと。【二】杉や朴の木等の仲買に関すること。杉板は名人の五十嵐藤太、本名亀太郎（明治二十五年、現金山町）、坂下の「ヤマコ（本来は荷判表記）」小崎藤三郎（明治二十六年）などと取引。【三】桐の材木商いに関すること。大正十四年の桐木売切書など。【四】桐下駄材

では宇都宮の福田延蔵との取引（大正十五年、昭和二年）。【五】木実（漆の実、蠟燭の原料）について宮下の「カネサ（本来は荷判表記）」との取引（大正九年）。【六】若松中六日町の佐藤伝平（明治二十二年、二十六年）、横田村の渡部清吾（明治二十六年）、伊達郡伏黒村の穴戸寅吉との蚕種売買に関すること。【七】大登の酒蔵「大」（本来は荷判表記）からの上酒買上帳（大正六年）。【八】麻類の取引に関すること。【九】漆掻きに関すること（明治二十三年～二十六年頃）などが確認できます。

【八】については昭和村下中津川（現・昭和村）の菅家順平商店に発送し、小中津川の高砂屋を経て現在の只見町あたりから「伊北麻」として移出していたようです。また【九】については福井県今立郡河和田村の助生田（現・福井県鯖江市）から、大谷村の二瓶常松を頼り、大谷・浅岐へ漆掻きに訪れていることを示す書簡です。助生田は、現在でも「漆の里」河和田として、漆掻き職人を輩出した地域として有名です。漆の樹液を採集する職人は漆掻き（掻子）と呼ばれ、明治四十一（一九〇八）年の時点で全国三七〇五名の漆掻きのうち、



三谷屋常松の商印



助生田の富田氏から

二瓶常松宛のはがき

一六〇〇名が福井県人、一五六〇名が出稼者でした。福井県では今立郡を中心に関東・東北・中部地方へ漆を掻きに歩いたそうです（刀禰勇太郎『漆かきさん―その実態』一九六三年より）。そのうちの幾名かが、三谷筋に漆掻きに來ていたということになります。

今回、大谷の二瓶常松という商業活動を営んでいた人物を事例にしましたが、中山間地である三島町であっても、交通網が今よりはるかに整備されていない明治・大正時代において、多種多様な、そして広範囲での経済活動が行われていたことが明らかに なりました。

文 三島町史編さん専門委員 菅家 博昭

三島町の振興・発展に大きく貢献

故齋藤茂樹氏（宮下）に叙位を伝達

9月6日、三島町長を4期（15年）に渡り務め、地方自治の発展・振興と町の福祉・教育・文化の向上に多大なる貢献をしたとして、故齋藤茂樹氏（宮下）に対し叙位（正六位）の伝達式が行われました。

伝達式では、親族と矢澤町長が同席し、県会津地方振興局長より故齋藤茂樹氏の長男である行紀さんに位記が手渡されました。



三島町固定資産評価審査委員に栗城隆彦さん（宮下）を再任



三島町固定資産評価審査委員に栗城隆彦さん（宮下）が再任され、矢澤源成町長から委嘱状が交付されました。

固定資産評価審査委員は、固定資産の評価額に関する不服の審査を公平な立場で行います。任期は3年間です。

町民記者に橋本光五郎さん（早戸）を委嘱



9月27日、早戸地区担当の町民記者に、橋本光五郎さんを委嘱しました。後日、さっそく記事を寄稿していただきましたのでぜひご覧ください。（6ページに掲載）

各地区の魅力を発信する、町民記者の皆さんの記事に今後ともご注目ください。

— 行政相談週間 —
行政相談員による相談所の開設

10月16日⑧から22日⑭までの一週間は「行政相談週間」です。行政相談は、役所（国、県および市町村）等の仕事に対して、苦情や困っていること、分からないこと、要望したいことなどについて相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。

三島町においては、行政相談週間中も、行政相談員が自宅等で相談に応じているほか、下記の日程で特設行政相談所を開設します。

また毎月第3水曜日（午前10時～正午、午後1時～3時）にも町民センターで行政相談所を開設していますのでご利用ください。

行政相談会
日時 10月21日⑤ 午前11時～午後1時
場所 道の駅 尾瀬街道みしま宿



行政相談員
小松けい子さん（西方）
電話 52-2660

「奥会津写真展～協力隊がみた世界～」のお知らせ

地域おこし協力隊の写真展！

10/26④～11/5⑧
場所 交流センター 山びこ



奥会津写真展 ～地域おこし協力隊がみた世界～



三島町交流センター山びこにて「奥会津写真展～地域おこし協力隊がみた世界～」が開催されます。

この写真展では奥会津地域に地域おこし協力隊としてやってきた隊員たちが、風景や人など様々な面から感じた奥会津の世界を写真として展示するものです。三島町地域おこし協力隊も作品を展示します！

また「奥会津写真展～地域おこし協力隊がみた世界～」は今後、会津若松市や新潟県など様々な地域での開催を予定しています。地域おこし協力隊の視点から奥会津の世界を写真に収めた展示会に、ぜひ足をお運び下さい。

国民年金保険料の後納制度について

過去5年以内に納め忘れた国民年金保険料を納付することで将来の年金額を増やすことができる“後納制度”が平成27年10月～平成30年9月までの3年間に限り実施されています。

後納制度を利用することで年金額を増やしたり、年金の受給資格を得ることができます。従来、老齢年金の受給資格の期間は原則25年以上必要でしたが、平成29年8月から資格期間が10年以上であれば、受給することができるようになりました。そのため、後納制度を利用して不足している保険料を納めることにより、受給資格がなかった方も受給資格を得られる可能性があります。

※すでに老齢年金を受給している方などは、後納制度は利用できません。

後納制度の利用には申し込みが必要です。

詳しくは“ねんきん加入者ダイヤル”にお問い合わせください ☎ 0570（003）004



マイナンバーカードを作っていない方へ

マイナンバー

マイナンバーカードは、顔写真つき身分証明書として使用でき、e-Tax等の電子申請にも利用することができます。

初回申請時の手数料は無料ですので、ぜひお申し込みください。

【申請から受け取りまでの流れ】

1. 簡易書留で郵送された通知カード下部のマイナンバーカード交付申請書に申請日・申請者氏名・電話番号を記入し、顔写真を貼付します。
2. マイナンバーカード交付申請書を通知カードから切り離し、返信用封筒に入れポストに投函します。
3. 1～2か月後に交付通知書が送付されます。
4. 交付通知書の受取期間を確認し、役場窓口で交付通知書・本人確認書類・通知カードを持参し、受領してください。

◆部門別職員数の状況(平成 29 年 4 月 1 日現在)

部 門	職員数	前年度からの増減
一 般 行 政 部 門	議 会	1 ± 0
	総 務	14 ± 0
	税 務	2 ± 0
	民 生	7 + 1
	衛 生	2 ± 0
	農 林 水 産	4 ± 0
	商 工	5 + 2
	土 木	3 ± 0
特 別 行 政 部 門	小 計	38 + 3
	教 育	4 - 1
公 営 企 業 等 会 計 部 門	水 道	1 ± 0
	国 保	1 ± 0
	そ の 他	1 ± 0
	小 計	3 ± 0
合 計	45	+ 2

③職員数は一般職に属する人数であり、町長、副町長、教育長、派遣職員、臨時または非常勤職員は除いています。

◆人件費の状況（平成 28 年度普通会計決算）

歳出額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費率 (B ／ A)
25 億 4,887 万円	2 億 602 万円	3 億 6,573 万円	14.3%

③人件費には非常勤の特別職に支給する給料や報酬も含まます。

◆職員給与費の状況（平成 28 年度普通会計決算）

職員数（A）	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計（B）	1 人当たりの 給与費（B ／ A）
43	1 億 4,410 万円	2,842 万円	5,526 万 円	2 億 2,778 万円	530 万円

③職員数は平成 28 年 4 月 1 日現在。職員手当には退職手当を含まない。

◆職員の平均年齢、平均給料・給与の月額

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	38.3 歳	28 万 4,543 円	32 万 6,182 円

③平成 29 年 4 月 1 日現在の給与＝給料＋諸手当

◆平成 29 年 4 月 1 日現在の初任給および経験年数別・学歴別平均給料月額（一般行政職）

学 歴	初任給	経 験 年 数			
		10 年	20 年	25 年	30 年
大学卒	18 万 2,400 円	※	※	※	※
高校卒	14 万 9,400 円	※	27 万 9,000 円	34 万 5,500 円	36 万 2,000 円

③経験年数とは卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合の年数をいいます。（※該当者なし）

◆平成 29 年 4 月 1 日現在の特別職の報酬等

区 分	役 職	月 額	期末手当（平成 29 年度支給割合）		
			6 月期	12 月期	計
給 料	町 長	69 万 4,000 円	1.4 月分	1.5 月分	2.9 月分
	副町長	55 万 9,000 円			
	教育長	52 万 7,000 円			
報 酬	議 長	22 万 5,000 円			
	副議長	18 万 4,000 円			
	議 員	16 万 6,000 円			

◆職員手当の状況

(平成 29 年度支給割合)

	6 月期	12 月期	計
期末手当	1.225 月分	1.325 月分	2.55 月分
勤勉手当	0.85 月分	0.85 月分	1.70 月分

(平成 28 年度決算)

その他の手当	扶養手当	住居手当	通勤手当	時間外手当	寒冷地手当
支給総額	589 万 5 千円	275 万 7 千円	224 万 9 千円	925 万 6 千円	286 万 6 千円
1 人当たりの 平均支給年額	21 万 518 円	19 万 6,914 円	7 万 2,535 円	20 万 1,211 円	6 万 2,300 円

③1 人当たりの支給年額は、支給総額をそれぞれの支給要件に該当する職員数で割った額です。

町職員の給与は、民間給与の調査に基づく人事院勧告を基本に、県や他の公共団体との均衡などを考慮し、条例で定められています。平成 29 年 4 月 1 日現在の地方公務員給与実態調査および地方公共団体定員管理調査を基に、町職員の給与と定員管理の状況を公表します。

☎ 役場 総務課

(48) 5 5 1 1

町職員の給与と定員管理の状況をお知らせします。

弾道ミサイル発射時の行動について

～爆風や破片などによる被害を避けるために～

「Jアラート」を活用したメッセージが流れたら
落ち着いて、直ちに行動してください

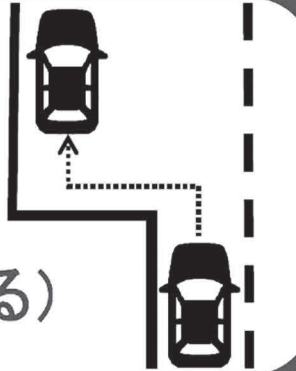
＜屋内にいる場合＞

できるだけ窓から離れるか
 窓のない部屋に移動し
 頭部を守る



＜車に乗っている場合＞

車を安全な場所に止め
 近くの建物に避難する
 （または、車内で姿勢を低くする）



＜屋外にいる場合＞

速やかに近くの
 建物に避難する



＜屋外にいて、近くに建物がない場合＞

物陰に身を隠すか
 地面に伏せて
 頭部を守る



(参考) 国民保護ポータルサイト <http://www.kokuminhogo.go.jp/>

福島県危機管理課ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01010a/kokuminhogo-misairu.html>

【宮下病院からのお知らせ】

宮下病院では、内科・整形外科の診療について予約を受け付けております。
予約がなくても診療は受けられますが、予約していただいた場合には優先的に診察いたしますので、待ち時間が短くなります。

【骨髄穿刺について】

当院では、骨髄穿刺という検査を行っております。末梢血中の赤血球、白血球、血小板は、骨中の骨髄という場所で作られますが、この骨髄からさまざまな血液細胞を直接取り出して検査するのが骨髄穿刺です。

例えば、健康診断において、貧血がある、血小板が少ないなどの異常が見られたとき、通常の採血では原因を特定できないこともあります。骨髄穿刺を行うことによって原因が特定できる場合があります。

赤血球、白血球、血小板等の異常が見られた方はお気軽にご相談していただければと存じます。

◆診療日誌

宮下病院 内科科長 小山大輔

④ 愛ばんしょ外来のお知らせ



「みしま健康ポイント」の対象です！

宮下病院では、毎週木曜日「在宅療養生活支援外来（愛ばんしょ外来）」を行っています。

- ①病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口
- ②地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
- ③地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※相談コーナーでは、例えば……
「健康のことを考えたいけど、何をすればいいのかわからない」
「介護のコツを知りたい」
「話し相手が欲しい」
など、健康、介護、医療に関することについてご相談をお受けします。

＜相談コーナー、健康教室のお知らせ＞
相談コーナー 午前 9 ～ 12 時、午後 1 時～午後 4 時
健康教室 午前 11 時～午前 11 時半
どちらも宮下病院外来待合室で行います。

月 日	内 容
10 月 12 日④	・相談コーナー ・健康教室「認知症について」 （講師：看護師）
10 月 19 日④	・相談コーナー ・健康教室「安心して病院を受診するために」 （講師：医療安全担当看護師）
10 月 26 日④	・相談コーナー ・健康教室「安心して病院を受診するために」 （講師：医療安全担当看護師）
11 月 2 日④	・相談コーナー ・健康教室「肺炎予防！ノドを鍛えよう」 （講師：看護師）

※健康教室の内容は、変更になる場合があります。

費用は無料です。どなたでもご利用可能ですので、お気軽にお越しください！（予約不要です）
職員一同、心よりお待ちしております！

宮下病院 ☎ (52) 2321

三島町地域支え合いサービス事業

“みしま支援隊” 利用申込受付中！



住民同士が支え合う地域づくりの推進と働く意欲のある方々の就労機会の提供を目的とした、三島町地域支え合いサービス事業“みしま支援隊”の利用申込受付中です。

家事の援助や庭の手入れ、草刈りや農作業など、個人・事業者を問いませんので、支援を必要とされる方は、お気軽にお問い合わせください。

【事業の概要】

支援を必要とされる方や事業者等からのサービス申込を受けて、「みしま支援隊員」が有償でサービス提供をする事業です。

【サービス内容と利用単価】

以下に記載のないサービスについてもご相談をお受けしますが、内容によってはお引き受けできない場合もございますので、予めご了承ください。

サービス内容		時間単位	利用単価
軽作業	家事援助（掃除、洗濯、調理など）、倉庫整理、庭の手入れ、買物代行、その他軽作業	1 時間	8 0 0 円
重作業	子守り、草刈り、農作業、雪囲い、裁縫、毛筆代行、その他重作業、その他技能作業	1 時間	1, 0 0 0 円

- ※ 作業時間は、原則午前 8 時 3 0 分から午後 5 時までとします。
- ※ 1 時間未満の作業時間は、3 0 分単位の切上げで計算します。
- ※ 作業に要する道具や材料等は、原則利用者提供となります。
- ※ 作業に要した機械等の燃料費は、別途利用者負担となります。

【みしま支援隊員を募集しています】

本事業にご協力いただける「みしま支援隊員」を随時募集中です。ご自身の都合に合わせた活動が可能ですので、ぜひ「みしま支援隊員」にご登録いただき、みんなで支え合う地域づくりにご協力をお願いいたします。

【申込受付・お問合せ】

町民課 保健福祉係

T V 電話 4 8 - 5 5 6 5

固定電話 4 8 - 5 5 6 5

消防署よりお知らせ

住宅用火災報知器の維持・管理について

もし、火災報知器が鳴ったら… **すぐに火災かどうか確かめる！**

火事・救急・救助は119番まで
会津坂下消防署三島出張所
電 話 52 - 3032
FAX 52 - 3033

【火災の場合】

- ・大声で火事であることを知らせます。
- ・早く発見できたら、消火器などで初期消火を行います。
- ・もしも消火中、天井に火が届くようになったら消火をあきらめ、すぐに避難します。
- ・避難するときは、タオルなどで口と鼻を覆い、姿勢を低くして避難します。
- ・避難できたら、すぐに119番通報してください。

【火災でない場合】

- ・電池切れや故障である警報音の場合は、点検を行い、電池を交換するなどしましょう。
- ・火災でない煙に反応したら、換気をして煙などを外に排出し、警報音を止めましょう。(ボタンを押すか、ひもを引くと一般的に音は止まります。)

【定期的に点検しましょう！】

①1ヵ月に1度を目安にきちんと動作するか確認しましょう。②台所に取り付けた警報器は、油や煙などにより汚れがつくことがあります。ほこりなどが付着すると火災を感じにくくなるので、家庭用中性洗剤に浸した布などを十分に絞って、軽くふき取ってください。③電池切れの際は電池の交換を。④本体の交換期限は機種によって異なりますが、目安はおおむね10年です。⑤火災警報器によって点検方法が異なるため、詳しくは説明書や仕様書をご確認ください。

※住宅用火災報知器を設置されたお宅につきましては、特に電池切れの警報や誤作動により設置していた住宅警報器を取り外してしまう事のないよう、適切な維持・管理をお願いいたします。

10月分納税のご案内

【納期限 10月31日】

▼町県民税(普通徴収)
後期高齢者保険料
(普通徴収・第3期)
忘れずに納付ください。

問 町民課町民係 ☎ (48) 5555

社会福祉協議会より

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

中村 秀 郎 様 (西方)

ひまわりサロン

10月16日(月) 遠足(新潟県)

問 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

町からお知らせ

町の人人口と世帯(9月1日現在)

人口	1,677	増減	2	出生	0
男	820		3	死亡	2
女	857		-1	転入	5
世帯	778		-1	転出	1

④住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1ヵ月間に届出のあった人数です。

はじめまして赤ちゃん

今月はおりました。

末永くお幸せに

今月はおりました。

お悔み申し上げます

今月はおりました。

※掲載を希望する方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。ご協力をお願いいたします。

問 総務課総務係 ☎ (48) 5511

仙台国税局からのお知らせ

仙台国税局事務センターのご案内

仙台国税局では、事務の一層の効率化を図る事を目的として、平成29年7月から「仙台国税局事務センター」を設置し、仙台国税局管内または宮城県内の10署を対象として、従来から税務署で行っている照会文書の発送や電話照会の一部について、集中的に行っています。

～税務職員を装った不審な電話にご注意ください～

国税局や税務署では、国税の還付金受取や納税のために金融機関等の現金自動預け払い機(ATM)の操作を求めることはありません。

国税局や税務署では、国税の納付のために金融機関の口座を指定して振り込みを求めることはありません。

項 目	内容等
名称等	名称 仙台国税局事務センター 所在地 〒980-8430 仙台市青葉区本町3丁目3-1 電話 022-263-5741 0570-07-0075(ナビダイヤル)※
事務の内容	税務署に提出すべき書類が未提出の場合の照会などについて、仙台国税局事務センターから、文書または電話により照会する問い合わせ先については照会内容によって異なりますので、照会文書に記載された問合せ先へご連絡願います。

※(ナビダイヤル)全国一律料金でご利用いただけます。なお、携帯電話でご利用の場合は、通常の電話料金となります。また、一部のIP電話・PHSはご利用いただけません。

会津坂下警察署よりお知らせ

会津坂下署管内で「なりすまし詐欺」被害の発生

被害の概要

7月中旬ごろ、会津坂下町に居住するAさん(40歳代、女性)の携帯電話に「ネット利用の未納料金がある」という旨のショートメールが送信されてきたことから、メールに記載された電話番号に連絡したところ、相手(犯人)から「ネット利用の未納料金がある」などと言われ、この話を信じたAさんは、相手の指示に従い、8月中旬ごろまでの間、数回にわたり宅配便で現金合計約5万3千5百円を送付したものの、その後、相手との連絡がつかなくなり、不審に思ったAさんが警察署に届け出たことから被害に遭ったことが判明したものの。



「身に覚えのないお金の請求」「医療費や税金が還付される」「保証金を払えばお金を融資する」などの話には注意してください。これらは「ATMで振り込ませる」「宅急便で現金を送付させる」「電子マネー券を購入させてお金をだまし取る」などの手口のほか「コンビニエンスストアのレジでお金を払わせてだまし取る」手口もあるので注意してください。

県内の被害発生状況を分析すると

オレオレ詐欺：すべて高齢者(65歳以上)の被害
架空請求詐欺：20歳代から50歳代に被害が集中
融資保証金詐欺：20歳代から50歳代に被害が多い
還付金等詐欺：全て高齢者(65歳以上)の被害となっています。また、被害全体の約8割が女性の被害でした。このように、高齢者以外の方も被害に遭っていますので、みんなで気をつけましょう。



※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。※右記発生件数は、平成29年1月1日からの累計数となっています。

区 分	管 内	三島町
空き巣ねらい	3	
忍び込み		
出店荒らし		
自動車盗		
自転車盗	6	
ひったくり	1	
街頭犯罪合計	15	0
全刑法犯	85	3

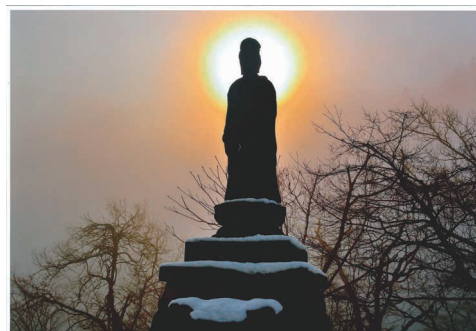
街頭犯罪発生件数(平成29年8月31日)

第7回『撮』っておきのみしま町フォトコンテスト2017

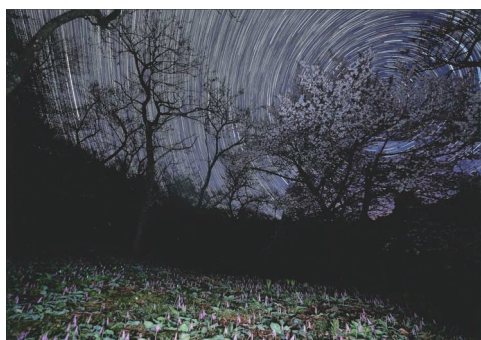
特別賞（来場者投票による）紹介



山崎 信吉さん（千葉県）
『川霧を渡るSL（第三只見川鉄橋）』



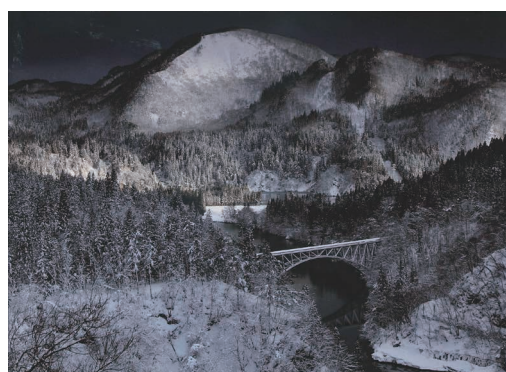
樋口 精一さん（会津若松市）
『祈りの光』



佐山 勝信さん（会津若松市）
『真夜中の大林公園』



樋口 精一さん（会津若松市）
『山郷の彩り』



吾孫 耕太郎さん（宮城県）
『予感』

投票数 344票（1人3票以内）

たくさんの投票をいただき、ありがとうございました。
なお、受賞作品一覧やエピソードを交流センター山びこの
ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。
交流センター山びこ ☎（52）2165

町長日記

～聞き書き百選から考える～

No. 27

只見川電源流域振興協議会発行の「じいちゃんありがとう」一枚の写真から」を読んでいます。孫による祖父母に対する聞き取った文書や写真を通して流域町村の人々の生き様や社会の有様、「安定した人々の関係」が生き生きと描かれています。60年程度の短期間における我々が「今」を生きている「人々の関係」との違いや変化に驚かされます。過酷な環境の中でたくましく生きてきた流域住民の小さな鼓動が新鮮に聞こえてきます。

自由や民主という多様な生き方を認める社会を構築し、豊かな社会という「言葉」の意味するものは何であったのか再考する必要があります。人間が本来持っているであろう、孤独や自立という原点に帰って人間関係を構築する地域社会の有様を考えていく時代が来ています。西欧社会に追いつき追い越せという国是のもと、様々な悲しみの歴史の中から国民的指針として経済という価値を追求し、多くの波及効果をもたらした、豊かな日本になったのは歴史が証明しています。しかし世界の幸福度という指標では、日本は55位程度です。ヨーロッパの国々は上位を占めている現実を考えると、社会や経済構造そのもののあり方を変えていくことが求められています。数年前ブータンの国王ご夫妻が来日した折「ブータンは世界で一番幸せな国です」と言っておられた事に驚きを感じたものでした。国によって持っている「物差し」が違っても同時に再認識したところでした。

聞き書き百選の「じいちゃん」の世界から現代を考えると日本を先導した、経済構造や教育構造にある世界や日本の価値を問い直すことが必要でないかと考えています。

我々の「知」によって積み上げられたとつもない「壁」に挑戦する力は、自立という多くの人々の関係性の中に潜んでいるような気がします。雪国の生活文化を継続して守り育てる地域の未来は、自分の足下の歴史から学ぶ必要性、時には孤立無援の戦いを強いられることになります。しかしこの戦いの戦略や戦術のヒントは子どもたちの「聞き書き百選」の中にあると信じています。

まとまりのない文章を書きましたが、時代の扉を開けるヒントが「聞き書き百選」にあると考えています。

三島町長 矢澤 源成

■発行 三島町 ■編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎ 0241（48）5511

■ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp

■印刷 三洋印刷株式会社